プレスリリース

（お知らせ）

大雪山国立公園の登山者参加型調査『山レポ「お宿帳」』への協力依頼について

平成 26 年 7 月８日（火）
環境省　北海道地方環境事務所
所　　長：徳丸　久衛
国立公園・保全整備課長：廣瀬　勇二
上川自然保護官事務所
自　然　保　護　官：野川　裕史（担当）
電話(01658)2-2574　FAX(01658)2 -2681
メール：REO-HOKKAIDO@env.go.jp
REO-KAMIKAWA@env.go.jp

環境省北海道地方環境事務所及び北海道大学大学院農学研究院では、今年度より、大雪山国立公園の避難小屋及び野営指定地の利用状況の把握を進めるため、一般登山者が利用状況を Web 上の専用サイトに報告・集計する方式による登山者参加型の調査『山レポ「お宿帳」』の取組を開始しましたのでお知らせします。

１．背景・概要

大雪山国立公園には、8 つの避難小屋、12 の野営指定地があります。登山シーズンに管理人が常駐するのは，黒岳石室と白雲岳避難小屋の 2 箇所で、その他の場所については利用実態に関する基礎的な情報に乏しい状況です。大雪山国立公園では、平成 25 年度より登山道管理水準等の見直しを行っていますが、利用実態の情報は、これからの大雪山の管理と、避難小屋と野営指定地のあり方を検討する上で欠かせません。

そのため、大雪山を登山されるみなさまに、通過および宿泊された避難小屋・野営指定地・その他の場所での宿泊者数およびテント数の記録及び Web 上の専用サイトへの報告への協力を呼びかけ、登山者参加型の調査を進めることでより広く利用実態の情報の収集を目指します。

２．調査方法

①登山者は、山行の際，以下の場所に宿泊または通過された場合に，避難小屋は人数，野営地はテント数を記録します。

避難小屋：黒岳石室、旭岳石室（姿見）、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、美瑛富士、十勝岳、上ホロカメットク
野営地：黒岳、裏旭、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、沼ノ原大沼、沼ノ原分岐、五色の水場、トムラウシ北沼、トムラウシ南沼、三川台、扇沼山、双子沼、美瑛富士、上ホロカメットク、ブヨ沼、小天狗のコル

②下山後、記録の結果を専用サイトにアクセスし投稿します。
専用サイト『**山レポ「お宿帳」**』　http://urx.nu/8G20

③とりまとめた調査結果は、大雪山の管理に生かすとともに、公表する予定です。

３．その他

大雪山国立公園における避難小屋及び野営地等の利用実態の把握については、別途、北海道地方環境事務所、北海道大学大学院農学研究院（愛甲准教授）による現地調査（聞き取り調査、アンケート調査）を行う予定としています。ご協力のほどよろしくお願いします。